



令和2年度川俣町立福田小学校学校だより

しらすぎ Kids NO. 3

令和2年4月28日

文責:校長 神尾孝弘

元気に育て！ 福田小の子どもたち

新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、学校が臨時休業になっていますが、今日は久しぶりの登校日でした。2時間程度の短い滞在時間でしたが、子どもたちは、友達や先生と笑顔でふれあい、みんな嬉しそうな表情を見せていました。

学校は子どもたちがいるだけで、輝き出します。子どもたちの歓声が、こんなに心地よい響きだったのかと、改めて感じさせられました。

臨時休業の期間は、5月6日までは続きます。大型連休であっても、子どもたちは家庭で過ごす時間が多くなると思います。引き続き、子どもたちの健康管理や事故防止等にお力添えをいただきますようお願い申し上げます。

【校庭のこいのぼり】

「こんなときだから、子どもたちを少しでも元気づけたい」と、教職員から素敵な提案がありました。子どもたちの登校日に合わせ、校庭にこいのぼりを掲げようという提案です。社会全体で閉塞感が漂う中、子どもたちの気持ちを明るくしようと教職員がみんな協力して、こいのぼりをあげました。その姿に、子どもたちを思う温かさが伝わってきました。

このこいのぼりは、地域の方々から学校に寄贈され、毎年運動会の時期にあげられていたものです。今年は運動会が延期になり、泳ぐ機会が失われていたこいのぼりでしたが、爽やかな風に乗って校庭の上を泳いでいます。

登校してきた子どもたちは、大空を元気に泳ぐこいのぼりを見上げ、眩しいばかりの笑顔を見せていました。



※今回こいのぼりをあげるにあたり、前用務員の三浦清助さんが力を貸してくださいました。おかげさまで校庭いっぱい元気なこいのぼりをあげることができました。ありがとうございました。

【児童玄関の兜】

児童玄関には、5月人形と兜が飾られています。こいのぼりの話に賛同して、福田小の子どもたちが元気でいてほしいと、用務員の本田さんが自宅から持ってきてくださったものです。「(自分の子どもは)大きくなって、家にしまわれているから」と笑いながら話す表情には、福田小の子どもたちを思う優しい心があふれていました。



臨時休業期間が終わり、再び、子どもたちが元気に登校してくる日を、職員一同楽しみに待っています。元気に育て！福田小の子どもたち。